

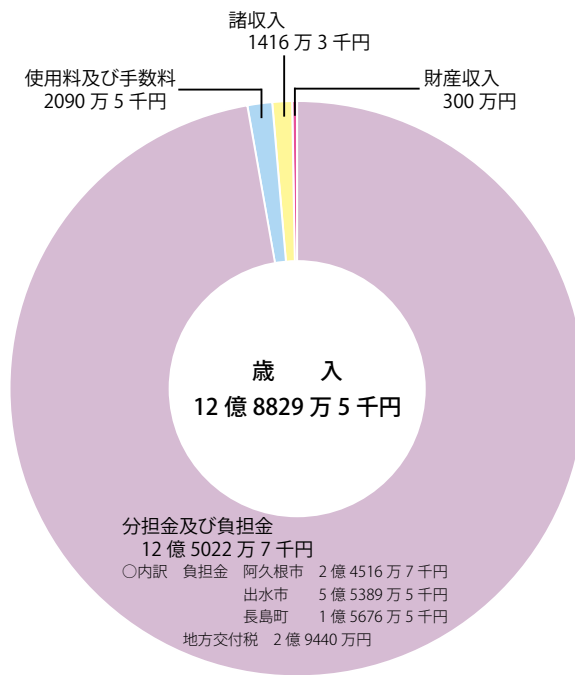
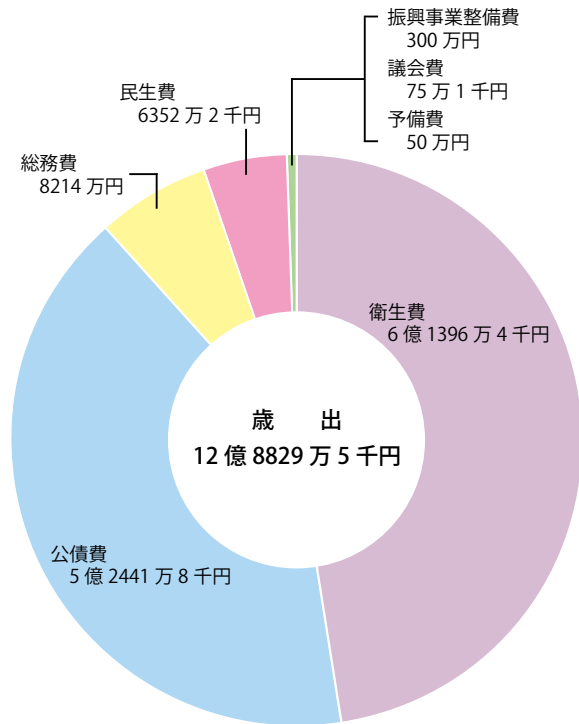
北薩広域行政事務組合

H22当初予算は12億8829万5千円

北薩広域行政事務組合の平成22年第1回定例会において、平成22年度の当初予算が議決されました。

平成22年度の当初予算は、平成21年度の当初予算に比べ7299万1000円（5.7%）減となり、12億8829万5000円になりました。歳入（収入）の主なものは、各市町村からの負担金、鉄、アルミの不用品売却収入等および使用料（じんかい処理場使用料等）です。

歳出（支出）の主なものは、じんかい（ごみ）処理、リサイクル処理、し尿処理するための経費である衛生費、組合の借金返済に充てられる公債費、介護保険の審査判定、認定業務の経費である民生費、圏域（2市1町）の振興整備のための事業推進に使われる振興事業整備費、議会費および総務費です。



交際のあり方を振り返ろう
4月から新生活運動スタート

本町では4月から新たな『新生活運動』をスタートさせました。厳しい経済情勢の中、「もう一度『新生活運動』を考えるべき」という考えのもと、昨年度一年間の議論を経て実施に至りました。

例えば葬儀の際、ご香典を包み、遺族に慰めの言葉をかけますが、このようなどき遺族は人の情けが身にしみ、ありがたく思います。交際とは本来、心のこもった相互の助け合いでした。

しかし、交際は戦後の好景気時代を迎え、派手なものになってきました。一旦派手になるとなかなか縮小しにくくなります。ときには無駄や経済的負担となることもあります。

そこで、これからの新生活運動では、「あまりに高い目標を掲げて守れない」ということにならないよう現状を踏まえ、一步一步前進できるところから始めることになりました。

町民の皆さんも、新生活運動についてはいろいろな意見をお持ちのことでしょう。今月から数回に分けて、町民の皆さんから寄せられた意見や議論の結果を紹介します。

◎問い合わせ先

新生活運動推進協議会事務局
(教育委員会社会教育課内)

☎(86) 1111 内線2231